

文化力と価値創造に関する特別委員会 議事次第

令和6年3月19日(火)
午後1時30分～
於：第4委員会室

1 開 会

2 所管事項の調査

「アートとテクノロジーの融合による新たな文化と産業の創造について」

参考人：学校法人瓜生山学園 常務理事

京都芸術大学 空間演出デザイン学科 教授

大野木 啓人 氏

3 閉会中の継続審査及び調査

4 今後の委員会運営

5 その他

6 閉 会

文化力と価値創造に関する特別委員会 出席要求理事者名簿
(令和6年2月府議会定例会)

【総合政策環境部】	
地域政策室参事	池 松 達 人

【文化生活部】	
文化生活部企画調整理事兼 副部長(文化振興担当)	田 中 圭 一
文化政策室長	勝 山 享
文化政策室企画参事	須 田 建 太 朗
文化芸術課長	大 石 正 子

(計 5 名)

アート&テクノロジー・ ヴィレッジ京都 (ATVK)

ART&TECHNOLOGY VILLAGE KYOTO

「アート&テクノロジー」をキーワードに、十人十色の創造・
人材育成にチャレンジする人の集まる場が 京都府大山崎町に誕生



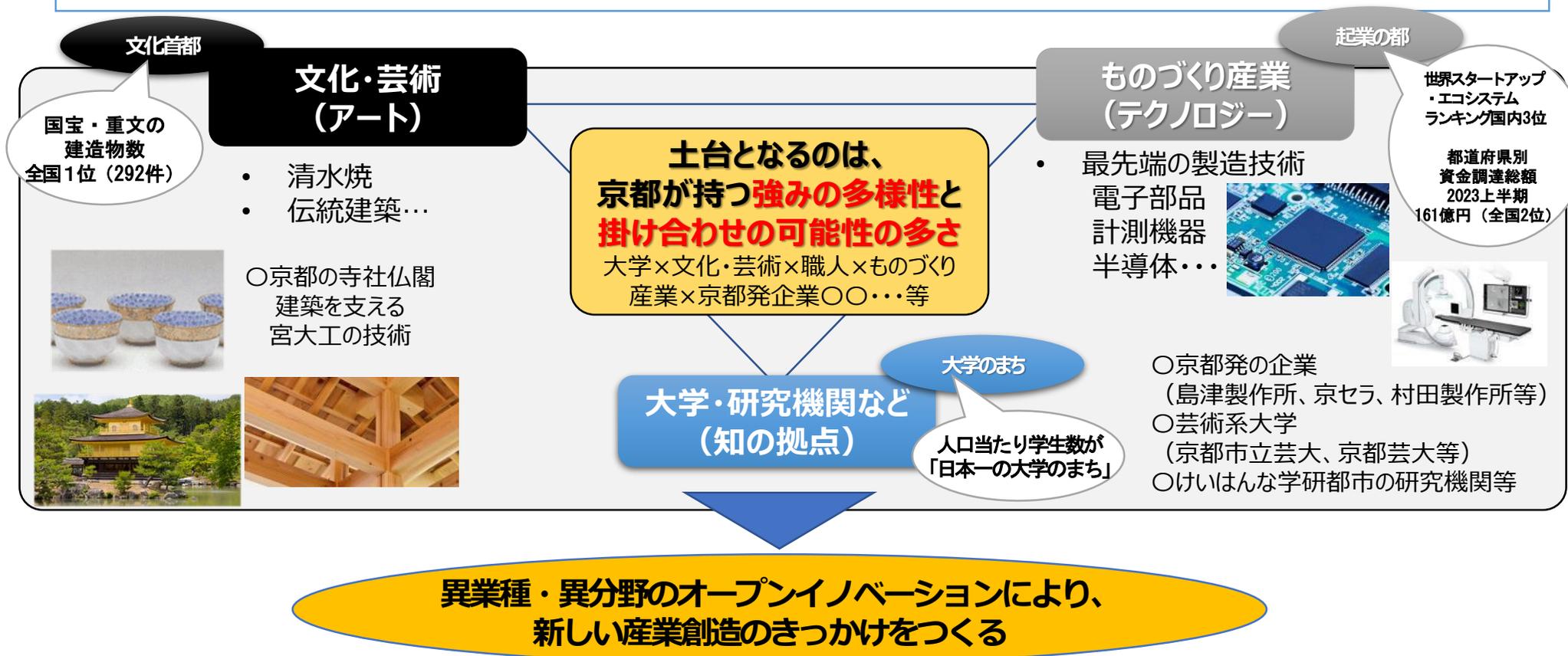
京都府 総合政策環境部 地域政策室
TEL : 075-414-4513



ATVK事務局 ((公財) 京都産業21)
TEL : 075-925-8821 (直通)

(1) ATVKの目指すもの

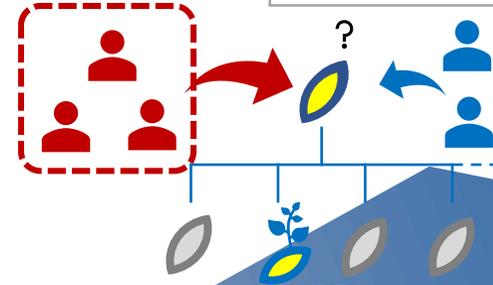
アート&テクノロジー・ヴィレッジ京都 (ATVK) は京都の文化・芸術の力を生かし、アートとテクノロジーを融合させた新たな産業を創造し、起業を促すとともに次世代を担う起業家や企業の中核を担う人材育成を推進する。



- ★異なる思考や業種・分野の対話や交流による新たな発想と潜在的に持つ京都の強みの多様性や掛け合わせの多さにより、新たなイノベーションの創出につながるという仮説設定
- ★アートとテクノロジーをテーマに、京都ならではのイノベーションエコシステムに挑戦

(2) ATVKの考えるイノベーションの Step Up Process

異業種・異分野の掛け合わせで
新たな事業の種を生み出す



現在、ATVKでは100を
超える企業や大学等が参画



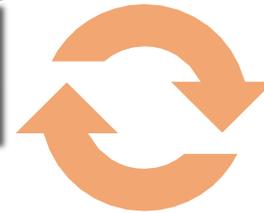
議論や交流から生まれた課題解決の
アイデアやビジネスチャンスを、
企業・産学連携やスタートアップ支援、
実証実験等へとつなげていきます

(現在活動中)
・フェムテック部会
・子供の能力開発部会
・ロボティクス部会



参加企業が挑戦したい
テーマや課題、自由な議論
から生まれた疑問などから、
テーマ別部会を立ち上げて
オープン化します

テーマに関心のある異業種・
異分野の企業や大学が集まり、
議論します



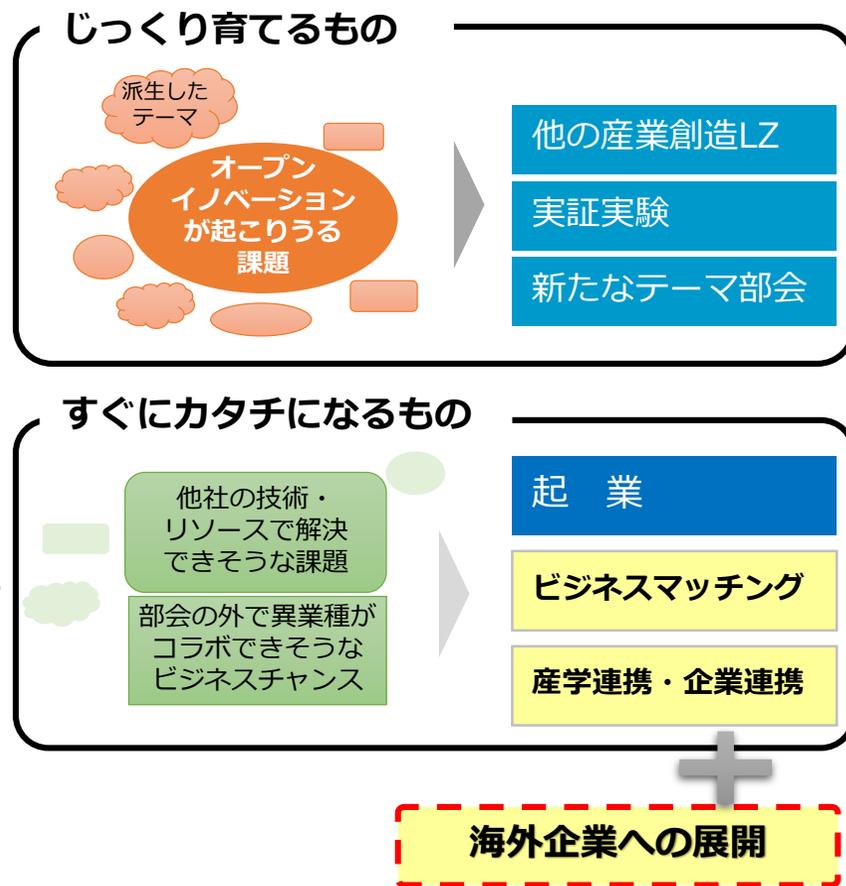
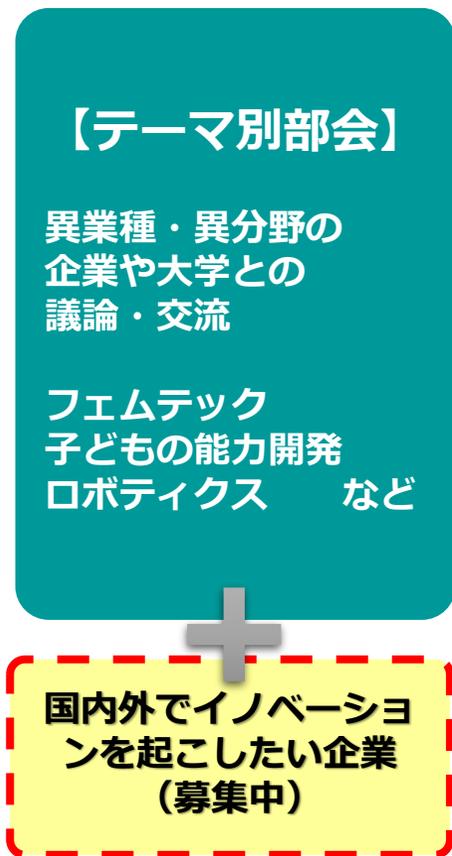
京都の産学公連携

(3) ATVKのテーマ別部会

①テーマの抽出

②テーマ別部会の設置

③生まれたもの（課題、アイデア、ビジネスチャンス）に応じた展開



テーマ別部会① フェムテック部会

- 妊産婦は子育てへの不安や生活環境の変化から、精神的に不安定になりやすく、「産後うつ」などメンタルヘルスの悪化により、生きづらさを感じるという意見に着目。
- 女性特有の体調・精神の不安定さを、健康経営の視点からとらえて課題解決を図る。

【論点】女性のWell-being観点で異分野連携による事業開発ができないか？

※2021年 20-30代女性の死因第一位は「自殺」（2023年「人口統計資料集(2023)改訂版」（厚生労働省））

連携例

計測機器メーカー

バイタル反応の計測

× 化粧品メーカー

色や香りなどによる心の
落ち着き

× 東洋医学

五感のバランス



【フェムテック部会開催実績】

準備会：令和5年9月28日

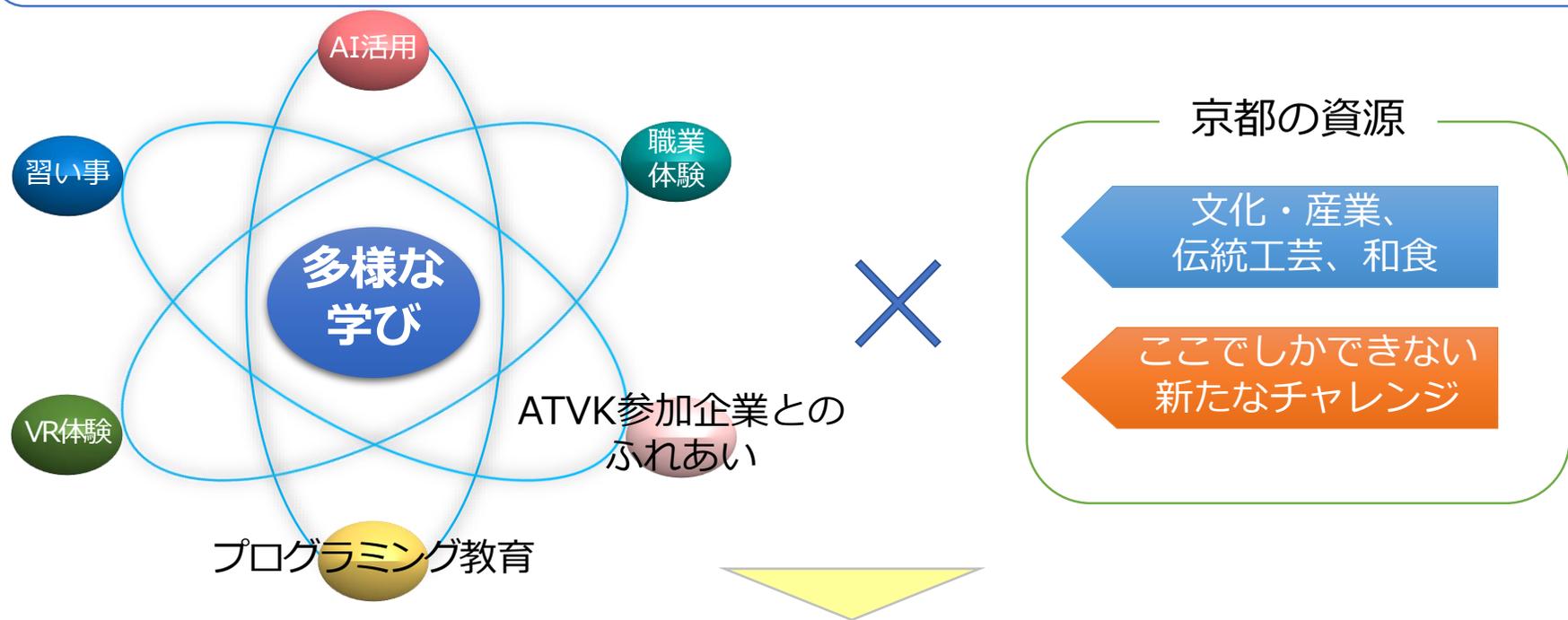
第1回：令和5年11月1日

第2回：令和6年1月17日

テーマ別部会② 子どもの能力開発部会

- AIやプログラミングなど多様な学びの手法に、伝統工芸などの京都でしかできない資源を組み合わせ、子どもたちが自ら考え、学びたくなる仕組みを創造

【論点】 先端技術と京都の資源を活かして、子供の多様な学びや能力開発が考えられるか？



**“ATVKメソッド”の確立？
実証フィールドでの展開？**

【子どもの能力開発部会開催実績】

準備会：令和5年10月24日

第1回：令和5年11月1日

第2回：令和6年1月16日

テーマ別部会③ ロボティクス部会

- 様々な分野に対し、ロボティクスによりこれまでにない新たな技術、解決手法や産業を創出
【論点】 ロボティクス産業が目まぐるしく進展する中で、京都ならではのロボティクス産業や地域の暮らしに溶け込んだロボットの社会実装を目指せないか？

ATVK参画団体

サービス（商業）

複合商業移設

船舶

音楽

フェムテック部会

農業

化粧品

介護・福祉

地域包括ケア構想

医療大学

通信（地域コミュニティ活性、高齢者健康増進）

教育

子どもの能力開発部会

電気（技術者育成）

百貨店

教育機関（小中、大学校）

住

ハウスメーカー

EV車

など

実証フィールド

部会メンバーで活用



ATVK

けいはんな
ロボット技術センター



ショッピングモール

ロボットヒル坂
の形成？

ロボティクス
による生活の
質の向上？

【ロボティクス部会開催実績】

第1回：令和6年1月16日

(4) アート&テクノロジー・ヴィレッジ京都

実証スペース

新しいアイデアの実験場
新幹線を見ながらつくづく憩いの場
ライブやドローンショーなどのイベント開催

クリエイティブ スペース (屋内製作スペース)

交流棟

100を超える企業・大学が集う交流の場
多様なテーマによるグループ形成
フェムテック部会
子どもの能力開発部会
ロボティクス部会 等

相互交流

企業サイト

“十社十様”の活動拠点
マクセル(株)
(株)HESTA大倉
日本テレネット(株)
(株)シロク
(株)音無 他

京都の産学公 の参画

アートコラボスペース

約2,500㎡の広大なスペースや新幹線の橋脚下など、
普通のギャラリーにはないシチュエーションでの
アート作品の展示およびパフォーマンスの場

起点 ～多様なテーマの活動拠点～

- ・業種も分野も規模も異なる多様な企業等が集結
- ・入居企業は活動拠点となる建物を構え、連携・協働しながら新たな商品開発や人材育成を展開

＜入居企業（5社）＞

マクセル(株)
(株)HESTA大倉
日本テレネット(株)
(株)音無
(株)シロク

他数社 順次入居予定



発信 ～アイデアや取組を国内外へ発信～

- ・ATVKで展開する現在進行形の取組を国内外へ情報発信（動画配信用スタジオ／撮影設備等完備）



交流・議論 ～異業種・異分野交流による新たな共創～

- ・課題やテーマをオープン化し、異業種・異分野の異なる発想をぶつけ合うテーマ別部会を創設し多種多様な議論による新しい着眼点からオープンイノベーションにつながる取組を展開
- ・セミナーやイベント開催を通じた交流促進（ピッチイベント等）



実証 ～実証実験／地域住民の憩いの場～

- 異業種・異分野・異なる発想の交流から生まれたアイデアを実験
- クリエイティブスペースでの試作
- 約2,500㎡の広大なスペースを活かしたイベント開催
- アートやテクノロジーを子どもが体験するワークショップ
- 新幹線を見ながら芝生でくつろげる憩いのスペース



表現 ～アートコラボスペース～

新幹線の橋脚下など、通常のギャラリーにはない
シチュエーションでのアート作品の展示やパフォーマンスの場



(5) ATVKで起こしていききたいモデル例

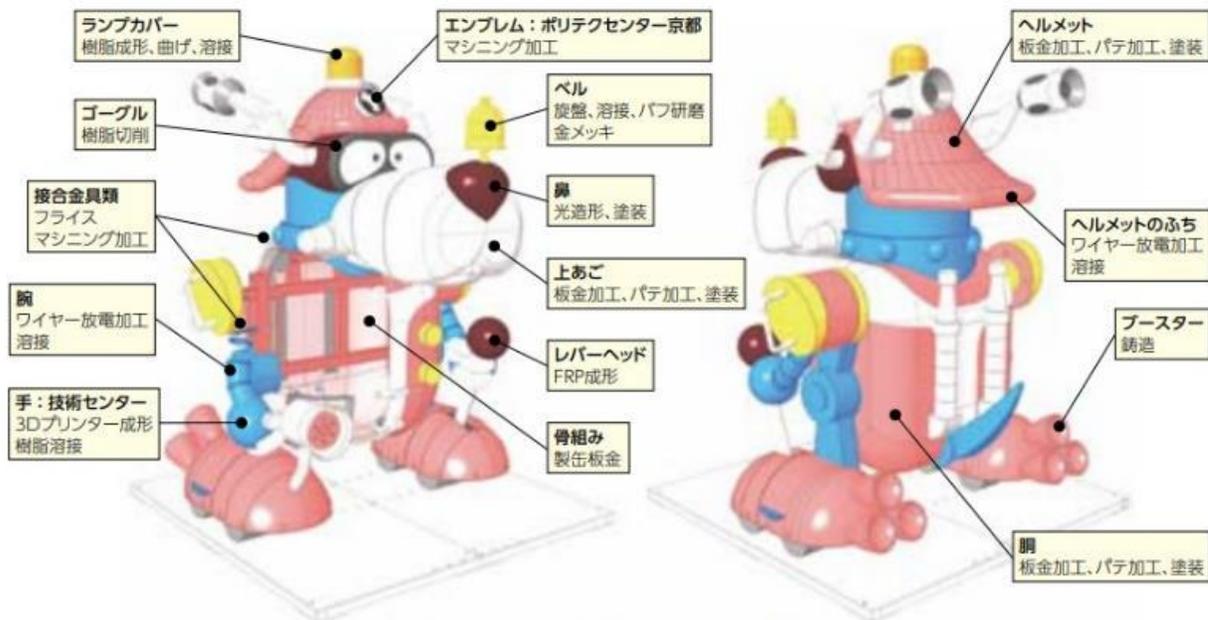
事例

タツノコプロ × 京都機械金属中小企業青年連絡会（機青連）

(アート)

(テクノロジー)

京都出身のアニメクリエイターが生み出した二次元のアニメキャラクター「ヤッターワン」を、京都企業の板金、フライス、旋盤、溶接、塗装、メッキなどのものづくり技術を結集し、原作のイメージどおりに具現化（※アニメ制作会社公認）



ヤッターワンプロジェクトの加工内容



除幕式の様子（2023/10/31）

自由な発想と異業種・異分野のコラボにより、これまでにはない新しいものを生み出すグループを支援。各分野の技術のコラボやオープンイノベーションの手法を広く転用し、ATVKの事業創出モデルとして世界へ発信していく。

施設情報

○名称 アート&テクノロジー・ヴィレッジ京都 (ATVK)

○設立 2023年10月31日

○住所 〒618-8525
京都府乙訓郡大山崎町字大山崎小字鏡田30番地1
(マクセル京都本社内)

○電話番号 075-925-8821

○営業時間 9:00-17:00
(企業サイト本格稼働後は9:00-21:00)

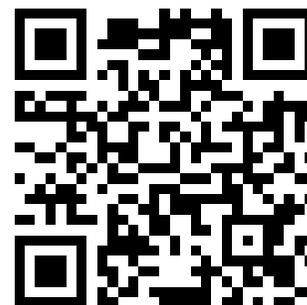
○休館日 毎週土・日曜日、祝日、年末年始

○アクセス

- ・名神高速道路 大山崎料金所からすぐ
- ・JR山崎駅、阪急大山崎駅より車で5分 (徒歩20分)

○お問い合わせ

- ・ATVK事務局 ((公財) 京都産業21)
TEL : 075-925-8821 (直通)
- ・京都府 総合政策環境部 地域政策室 南部係
TEL : 075-414-4513



(案)

令和6年 月 日

京都府議会議長 石 田 宗 久 殿

文化力と価値創造に関する特別委員長 山 口 勝

閉会中の継続審査及び調査要求書

本委員会に付されている事件は、下記の理由により、引き続き審査及び調査を要するものと認めるから、京都府議会会議規則第75条の規定により申し上げます。

記

1 件 名

伝統文化、生活文化などの継承・発展や文化と観光、食、伝統産業、先端産業などあらゆる分野との融合により、新たな価値を創造し、発信するための施策について

2 理 由

審査及び調査が終了しないため

行催事等に係る委員会調査の結果概要について

文化生活部

行催事等名	主催者名 (招待者名)	会場 (市区町村名)	年月日
第42回京都府文化賞交流会	京都府	京都ブライトンホテル (京都市上京区)	令和6年2月6日(火)

文化生活部・商工労働観光部

行催事等名	主催者名 (招待者名)	会場 (市区町村名)	年月日
京都・和食の祭典2024 ～京の食文化発信～ シンポジウム	日本料理文化博覧会実行委員会、 文化庁連携プラットフォーム	京都市勧業館 (京都市左京区)	令和6年2月25日(日)